

I 調査の概要

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、国の示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の視点を踏まえた調査で、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題の特定、総合事業の管理・運営に活用することを目的として実施しています。

2 調査の種類と実施方法

調査対象	区内在住の65歳以上の方で、要介護認定を受けていない方 令和3年度の調査で協力の同意をいただいた方
配布数	5,395人
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和4年11月～12月

3 回収結果

配布数	回収数	有効回収数
5,395人	4,179人 (回収率77.5%)	4,178人 (回収率77.4%)

4 報告書を見る際の注意

- ・図表中の「n」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・調査結果の比率はすべてnを基数として百分率（%）で算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、割合の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、割合の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・本文や図表中において、選択肢の文言が長い場合は、選択肢中の文言を一部省略した表現を用いています。
- ・グラフに関して、単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。また、経年比較はすべて棒グラフとしています。棒グラフは、「その他」「わからない」「特にない」などの具体的な内容を含まない選択肢及び「無回答」を除き、割合による降順となっています。また、帯グラフ中の「0.0%」については表記を省略しています。
- ・表に関して、表側となる設問項目に関してはそれぞれ「無回答」を除いて選択肢を表記しているため、合計が全体と一致しない場合があります。また、網掛け部分は、全体および分類別の該当対象者のなかでそれぞれ比率が最も高い項目であることを表しています。
- ・表に関して、「介護認定を受けていない一般高齢者」を“一般高齢者”、“要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者”を“総合事業対象者”と表記しています。
- ・集計結果において、特に属性別でみる場合、回答者を限定する設問などによっては該当者が少なくなり、割合が偏る、あるいは分散することがあります。

- ・コメントに関して、全体の割合が上位の回答と属性別の集計結果について言及しています。
- ・居住地域の設問に対して、高齢者総合相談センター圏域（8区分）、日常生活圏域（4区分）の区分けは以下のとおりです。

高齢者総合相談センター圏域	日常生活圏域	該当住所
菊かおる園	東部地区	巣鴨3～5丁目 西巣鴨1～4丁目 北大塚1・2丁目
東部		駒込1～7丁目 巣鴨1・2丁目 南大塚1～3丁目
中央	北部地区	北大塚3丁目 上池袋1～4丁目 東池袋1～5丁目
いけよんの郷		池袋1・2・4丁目 池袋本町1～4丁目
ふくろうの杜	南部地区	南池袋1～4丁目 雑司ヶ谷1～3丁目 高田1～3丁目 目白1・2丁目
豊島区医師会		西池袋1～5丁目 池袋3丁目 目白3～5丁目
アトリエ村	西部地区	南長崎1～6丁目 長崎2～6丁目
西部		長崎1丁目 千早1～4丁目 要町1～3丁目 高松1～3丁目 千川1・2丁目